

第6学年 国語科学習指導案

日時 平成22年9月30日(木) 6校時

学級 6年1組 男子22名 女子17名 計39名

場所 6年1組教室

授業者 教諭 和田 成枝

- 1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう
教材名 「平和のとりでを築く」「自分の考えを発信しよう」

- 2 単元について

- (1) 教材について

第5学年及び第6学年における「C読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる」ことである。また、「B書くこと」の目標は、「目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えながら文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる」ことである。これを受けて本単元では、「C読むこと」の内容「ウ目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんじたりすること」と、「B書くこと」の内容「イ自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること」「ウ事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること」を目標とする複合単元を設定する。

本単元は、これらの指導事項を受けて設定されたものであり、「平和のとりでを築く」と「自分の考えを発信しよう」の二つの教材から構成されている。「平和のとりでを築く」では、『『平和』に関する説明文教材を、事実と意見を区別しながら読み、それについて自分の考えをもつ』ことをねらいとしている。原子爆弾によって傷だらけとなった物産陳列館が、多くの人々の平和を願う心によって、世界遺産「原爆ドーム」となった経緯を述べた文章であり、筆者の主張が明確に述べられているので、「平和」「戦争」という今日的な重要な問題に対して、児童が自分の考えをもつことのできる価値ある教材といえる。また、次の「書くこと」への動機付けもできる。「自分の考えを発信しよう」は、「平和」に関する情報を集め、それをもとに自分の考えを深めて文章に書き表し発信するという、言語活動を進めることのできる教材である。

- (2) 児童について

児童は、6学年1学期の単元「生き物はつながりの中に」において、事実と意見を区別しながら読むこと、全文を要約することを学習している。この学習から、キーワードを見つけること、段落ごとの要点をつなげて要約する方法については理解できている。しかし、自分の意見をしっかりとつことができない児童が見受けられたり、発言する児童が偏ったりしている。

「書くこと」に関しては、5年生の頃から、「はじめ」「中」「まとめ」という構成で作文を書く活動を繰り返し行ってきた。児童の多くは、この構成を意識して文章を書くようになってきているが、自分の思いを話したり、自分の言葉でまとめて書いたりすることが苦手の児童が多い。ひとり学びを充実させながら、自分の意見に自信をもって堂々と表現できるようにする必要がある。

- (3) 指導にあたって

「とらえる」段階では、本教材や事前に戦争や平和に関する記事や本を読んだ感想を簡単に交流したり、原爆、終戦に関係する新聞の「声の欄」を紹介したりしながら、学習への関心をもたせる。また、既習内容を活用しながら筆者の主張を読み取るために、おおまかな文章の構成を考えさせる。その場合、筆者の意見を述べている段落が、おわりにあることから、はじめ・中・おわりのおおまかな文章構成をとらえさせる。筆者の主張に対する自分の意見もちながら最後には意見文を書き、新聞に投稿することを確認しながら見通しをもたせていきたい。

「ふかめる」段階では、意味段落にわけ、小見出しをつけたり、段落毎に事実か筆者の意見かを、主語や文末表現、述べている内容などから判断させたりしながら内容を読み取っていく。要約については、主張の段落のみを取り上げる。主張をとらえる際には「である」「なのだ」という文末表現に着目させ、筆者の一番伝えたいことを述べている文をとらえさせる。さらに、原爆ドームに対する叙述の変化や、原爆ドームの保存を願う人々の広がりといった述べ方の工夫、ユネスコ憲章の引用、題名と最終段落の文の呼応といったことに筆者の思いが表れていることに気付かせ、その高まりを読み取らせながら自分が感じたことや考えたことを書きまとめる。そうすることで、自分の意見の蓄積ができ、まとめの意見文を書く際に活かすことができると考える。

「ひろげる」段階では、課題について調べたり、友達と考えを交流し合ったりする活動を取り入れる。友達との交流を行うことで、経験や知識の乏しい児童にも、より多くの材料をもたせることができる。さらに、平和や戦争、原爆、世界遺産等の本教材文に関わる本との並行読書を行うことで、自分の考えを深めたり、高めたりすることの一助としたい。また、意見文の構成や書き方についても学習し、相手意識をもちながら意見文を書かせるようにする。これまでの説明文の学習で身に付けてきた力を活かしながら、学習を進めていきたい。

(4) 活用させたい「知識・技能」

既習事項 ○前学年 ●前単元	既習事項の活用 ・本単元
<p>【C 読むこと】 「説明的な文章の解釈」 ○目的に応じて、中心となる語や文をとらえる。 ●段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読む。</p> <p>【B 書くこと】 「記述」 ●中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書く。 ○敬体と常体に注意しながら書く。 ●目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりする。</p> <p>「交流」 ●発表し合い、考えの明確さなどについて意見を述べ合う。 ●発表し合い、表現の仕方について助言し合う。</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 「言葉の特徴やきまりに関する事項」 ○指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使う。</p>	<p>【C 読むこと】 「説明的な文章の解釈」 ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえる。 ・事実と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読む。</p> <p>【B 書くこと】 「課題設定や取材」 ・考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理する。</p> <p>「構成」 ・自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考える。</p> <p>「記述」 ・事実と感想、意見を区別しながら書く。 ・自分の考えが伝わるように書く。</p> <p>「交流」 ・書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合う。</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 「言葉の特徴やきまりに関する事項」 ○文や文章にはいろいろな構成があることについて理解する。</p>

3 単元の目標と評価規準

観点	目 標	評 価 規 準
国語への関心・意欲・態度	<p>○筆者の訴えを受けて、自分の考えをもつことができる。</p> <p>○「平和」について関心をもって読んだり、話し合ったり、書いたりしようとする。</p>	<p>・筆者の訴えを受けて、自分なりの考えをもとうとしている。</p> <p>・「平和」について関心をもって資料を読み、自分の考えを書いている。</p>
書く能力	<p>○自分の考えを明確に表現するために、効果的な文章の組み立てを考えることができる。(イ)</p> <p>○事実と意見を区別して書いたり、対立する意見を取り上げて反論を述べたりすることができる。(ウ)</p>	<p>・意見文として有効な文章構成を選択して、文章を書いている。</p> <p>・事実と意見を区別し、対立する意見を取り上げて反論を述べたり、根拠となる事実を取り上げたりして、説得力のある意見文を書いている。</p>
読む能力	<p>○筆者の考えを押さえ、自分はどうに考えるかを明確にしながら、読むことができる。(ウ)</p>	<p>・筆者の考えを読み取り、それに対して自分がどのように考えるかを明確にしながら、読んでいる。</p>
言語についての知識・理解・技能	<p>○文章にはいろいろな構成があることを知り、適切なものを考えることができる。(伝イ(キ))</p>	<p>・説明的文章の構成の中で、それぞれの段落が果たす役割を理解している。</p>

4 単元指導・評価計画（17時間扱い）

段階	時間	目 標	○学習課題 ・主な学習活動 ☆主な支援の手立て	評価規準 【評価の観点】 (評価方法)
とらえる	1	文章の内容をおおまかにつき、学習の見通しをもつことができる。	○感想を発表し、学習の見通しをもとう。 ・事前に戦争や平和に関する記事や本を読ませ、学習への構えをつくる。 ・事前学習を活用し、戦争や平和に関して、発表する。 ・題名の「平和」「とりで」「築く」について感じたことや筆者が伝えたいことを考える。 ・単元名から、説明文を読み、自分の考えをもち、意見文にまとめるという学習の見通しをもつ。 ・キーワード・段落・段落相互の関係について振り返る。 ・原爆、終戦に関する新聞の「声の欄」を読む。 ☆何回も繰り返して登場する言葉や題名に使われている言葉が重要であることを確認する。 ☆戦争・平和に対して自分の考えを発信する必然性、目的意識、相手意識をもたせるようにする。	戦争や平和に関して、初発の感想をノートに書こうとしている。 【関心・意欲・態度】 (発言・ノート)
	2	文章の構成をつかみ、読みの課題をもつことができる。	○題名と第1段落から課題を作ろう。 ・全文を読み、形式段落に分ける。 ・意味段落に分け、小見出しをつけ、I「原爆ドームに対する語り手(わたし)の思い①」が話題提示になっていることを確かめる。 ・文章全体の構成をつかみ、どの部分にどんなことが書かれているのかを考える。 ・読みの課題を立てる。 ☆接続詞や文末表現に着目させ、段落相互の関係を確認させる。	文章の構成をつかみ、読みの課題を立てている。 【読む能力】 (発言・ノート)
ふかめる	3 ～ 7	文章の内容をとらえ、筆者が読者に伝えたいことを読み取り、自分の読みをまとめることができる。	○筆者が伝えたいことを読み取り、感想をもとう。 ・まとまりに分けて、文章構成をとらえる。 ・II「原爆ドームがたどった歴史②～⑧」III「世界遺産への道のり⑨～⑪」を概括的に読み取る。 ・IV「①、まとめ⑬」から筆者の伝えたいことを明らかにし、読み深める計画を立てる。 ・筆者の伝えたいことを読み深めるためのキーワードを押さえる。 ・キーワードに沿って書き込みをし、筆者の伝えたいことをまとめたり、それに対する自分の考えを書いたりする。 ☆原爆ドームに対する叙述の変化や、原爆ドームの保存を願う人々の広がりといった述べ方の工夫、ユネスコ憲章の引用、題名と最終段落の文の呼応といったことに筆者の思いが表れていることに気付かせる。	具体的事例について事実や時間の流れを押さえながら正確に読み取っている。 まとめの段落に着目し、叙述を丁寧に読み取りながら、根拠を明らかにして、筆者の伝えたいことについてまとめている。 自分の感じ方・考え方を明確にして自分の考えを書いている。 【読む能力】 (ワークシート・ノート)

	8 ・ 9	「平和」について自分の考えを意見文にまとめるために、調べることを具体化することができる。	○平和に関する自分の課題を立て、調べる方法を決めよう。 ・平和に関してもっと知りたくなったこと、感じたことを出し合って、問題意識を高める。 ・発信する目的や相手、課題、方法を決める。 ・調べることを具体化する。 ☆具体的な課題を決め、それに沿ってどのような方法で調べたらよいか考えさせる。	読み取ったことをもとに「平和」について自分の課題をもっている。 【読む能力】 (ノート・発言)
ひろげる	10 ・ 11	課題について調べることができる。	○自分の課題について調べよう。 ・調べたい内容に沿って自分の選択した方法で調べる。 ☆事前に活用できそうな図書資料やインターネットのホームページを把握しておき、児童に紹介する。 ☆インタビューのしかたやアンケートの作り方など事前指導を行う。 ☆インターネット学習のルールや気を付ける点について押さえる。	自分の課題に沿ってインターネットや本・雑誌・新聞などを活用し、要旨に説得力をもたせるために必要な材料を集めている。 【読む能力】 (ワークシート)
	12	集めた材料をもとに要旨をまとめ、文章の構成を考慮することができる。	○文章の構成を考えよう。 ・集めた材料をもとに、材料の精選を行う。 ・モデル文から文章の構成を考える。 ☆構成の意図をつかませ、どのような構成にするか考えさせる。	意見文の有効な文章構成を理解し、自分の意見文の構成を考えている。 【書く能力】 (ワークシート)
	13	序論・本論・結論の流れに沿った意見文の書き方を理解することができる。	○意見文の書き方を知ろう。 ・①序論②本論③結論という流れに沿って書くことを確認する。 ・同一テーマで実際に書いてみる。 ・交流する。 ☆同一テーマで書かせ、意見文の書き方を理解させる。	序論・本論・結論の流れに沿った意見文の書き方を理解している。 【書く能力】 (ワークシート)
	14 ⑮ 本時	事実と意見を区別して書いたり、対立する意見を取り上げて反論を述べたりすることができる。	○説得力のある意見文を書こう。 ・自分の課題に沿って①序論②本論③結論という流れに沿って書くことを確認する。 ・モデル文を提示し、効果的な内容や文末表現について知る。 ・友だち同士で交流し、助言し合う。 ☆資料の書き写しにならないように、必要などころを選んで分かりやすく書くようにさせる。	事実と意見を区別し、対立する意見を取り上げて反論を述べたり、根拠となる事実を取り上げたりして、説得力のある意見文を書いている。 【書く能力】 (ワークシート)
	16	書きまとめた意見文を推敲し、清書することができる。	○推敲し、清書しよう。 ・新聞投稿するために、推敲のポイントを確認する。(新聞投稿用として450字程度にリライトする。) ・清書する。 ☆モデルを提示し、推敲のポイントを理解させる。	読み手によく分かるように、効果的な表現で書いている。 【書く能力】 (ワークシート)
17	相互評価を行い、学習のまとめをすることができる。	○意見文を紹介し合おう。 ・完成した意見文を読み合い、相互評価をする。 ・新聞投稿の準備をする。 ☆内容の工夫や、表現の分かりやすさなど、自分たちが意見文を書くときに工夫してきたことを振り返りながら、相互評価をさせる。	相互交流を行い、友だちの考えのよさを見つけている。 【関心・意欲・態度】 (発言・ワークシート)	

5 本時の指導（15／17）

(1) 目標

事実と意見を区別して書いたり、対立する意見を取り上げて反論を述べたりすることができる。

(2) 本時の指導にあたって

教材文「平和のとりでを築く」では、序論・本論・結論という文章構成を学び、さらに意見と事実を区別し、根拠をはっきりさせた意見文の書き方を学んできている。本時では、よりよい意見文を書くために必要なことを、モデル文を使ってもう一度確認し、自分の意見文へ活かす手がかりとさせたい。

<仮説との関わり>

手立て1 ・論理的文章の構成を活かした意見文を書く。

手立て2 ・モデルとなる意見文を提示し、比較により構成や表現の工夫に気付かせる。
・ペアや全体交流の時間を取り、表現のよさを見つける。

手立て3 ・学んだことが、今日の学習にどう活かされたのかを振り返りカードに書かせ、全体に紹介する。
・児童自身が自己評価できる具体的な評価の観点を示す。

(3) 展開

段階	学習内容・学習活動	支援の手立てと評価	準備
とらえる 3分	1 前時までの振り返りをする。 2 本時の学習課題を確認する。 説得力のある意見文を書こう。	・前時に学習した序論・結論の役割を確認する。 ・本時は続きの意見文（本論）を書くことを確認する。	シート ノート 掲示物
たしかめる 35分	3 課題解決の見通しをもつ。 ・モデル文から意見文の書き方を知る。 (1) 説得力のある意見文とは何かを思い出させる。 (2) 2つのモデル文を参考に本論の役割や表現の工夫について確認する。 【活用】手立て1 論理的文章の構成を活かした意見文を書く。 【活用】手立て2 モデルとなる意見文を提示し、比較により構成や表現の工夫に気付かせる。 4 課題を解決する。 5 書いたものを交流する。 ・ペアで発表し合う。 ・助言し合う。 【活用】手立て2 ペアや全体交流の時間を取り、表現のよさを見つける。 6 全体にひろめる。	・「平和のとりでを築く」の構成表を掲示しておき、必要に応じて確認させる。 ・2つのモデル文を提示し、違いを見つけさせながらよさに気付かせる。 ◇説得力のある意見文 ・事実と感想、意見を区別しながら書く。 ・対立する意見を取り上げて反論を述べたり、根拠となる事実を取り上げたりしながら書く。 ・授業の中で書いてきた自分の意見や調べた内容、それに対する意見などの中から精選した内容を再確認させる。 ・ペアで発表し合い、表現の仕方について助言し合う。 ・自分の考え、友達の考えを聞き比べ、相違点をはっきりさせて自分の考えを見直し、深められるようにしたい。 ・いくつかのペアに発表させ、更に構成や表現のよさを広める。 【目指す姿】 今までの学習やモデル文を活かしながら意見文を書くことができる。	掲示物 モデル文 シート

		<p>【評価規準】（書く能力） 事実と意見を区別し、対立する意見を取り上げて反論を述べたり、根拠となる事実を取り上げたりしながら意見文を書いている。</p> <table border="1"> <tr> <td> 具体の評価規準 （ワークシート） </td> <td> 努力を要すると判断された児童への具体的な手立て </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">B</td> </tr> <tr> <td> 対立する意見を取り上げて反論を述べたり、根拠となる事実を取り上げたりしながら意見文を書いている。 </td> <td> モデル文を参考にしながら書き進めさせる。 </td> </tr> </table>	具体の評価規準 （ワークシート）	努力を要すると判断された児童への具体的な手立て	B		対立する意見を取り上げて反論を述べたり、根拠となる事実を取り上げたりしながら意見文を書いている。	モデル文を参考にしながら書き進めさせる。	
具体の評価規準 （ワークシート）	努力を要すると判断された児童への具体的な手立て								
B									
対立する意見を取り上げて反論を述べたり、根拠となる事実を取り上げたりしながら意見文を書いている。	モデル文を参考にしながら書き進めさせる。								
ま と め る 7分	7 今日の学習を振り返る。 (1) 自己評価と感想を記述する。 (2) 感想を発表する。 【活用】 手立て3 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 学んだことが、今日の学習にどう活かされたのかを振り返りカードに書かせ、全体に紹介する。 </div> 8 次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に基づいて本時の学習を振り返らせ自己評価させる。 ・自己評価の観点は「学習内容の理解」「活用」の二点とする。 ・感想を発表する中で、相互評価できるようにさせる。 ・次時は、新聞投稿するために推敲し、清書することを確認する。 							

(4) 板書計画

<p>○ポイント</p> <p>①事実と感想、意見を区別しながら書く。</p> <p>②対立した意見や根拠となる事実を取り上げる。</p>	<p>【違い】</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">モデル文A</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">モデル文B</td> </tr> </table>	モデル文A	モデル文B	<p>説得力のある意見文を書こう。</p>
モデル文A					
モデル文B					